

ブドウの輸出、地域への出前講座
などで海外と近い！ 地域と近い！

丹原高校

普通科・園芸科学科の二つの学科を持つ。
4年連続で、生産の世界基準「グローバル
GAP」を取得したブ
ドウを台湾の高級ス
ーパーへ輸出。世界
に誇れる農作
物を育てる。






普通科 2年
酒井 ひかりさん



市内の中学校に、「丹高おもしろサイエ
ンス」という理科の授業に行きました。み
んなのリアクションが大きくて、楽しんで
実験してくれていたことが印象に残ってい
ます。学校から出て地元の人と接すると、
地域をより近くに感じられます。また、丹
原高校は、生徒数が少ない分、挑戦できる
チャンスに恵まれています。私は、苦手な
「人前で話すこと」を克服したくて生徒会
長になりました。きっかけは、背中を押し
てくれた先輩です。穏やかな環境と、たく
さんのすてきな出会いに感謝です！



▲「丹高おもしろサイエンス」で実験のサポート

園芸科学科 3年
西田 喜信さん



グローバルGAP（生産工程管理に関す
る国際規格）は、約250項目の審査をクリ
アしなければいけません。資料の作成など
大変でしたが、夏休みの間もメンバー4人
で力を合わせてがんばりました。出来上が
ったブドウを食べたときは、みんなで育て
あげた達成感と、そのおいしさに感動しま
した。丹高は、菊花展など地域の方と触れ
合える機会も多く、接客でコミュニケーシ
ョン能力も鍛えられます。園芸科学科で、
自然に触れたり、地域の人と交流したりし
て毎日充実した学校生活を送りませんか？



▲夏休みの間も、資料作成に全力を注ぎました

生産の世界基準を取得したブドウが台湾へ！

まちの未来 を創る高校

西条には、個性豊かな五つの県立高校があります。
地域の人と文化を継承したり、生産や専門技術に
挑戦したり。各校の特色を生かしながら、自分の
夢や目標に向かってがんばる生徒を取材しました。
これからの進路に悩む中学生も、「やってみたい」
「なりたい」を見つけられるヒントがあるかも？



プロの職人に技術を学べる環境。
工業・産業の大会などで多数の入賞！

東予高校

機械科・電気システム科・建設工学科の三つの学科がある西条市内唯一の工業高校。部活動では、弓道部が全国大会5位、機械部が全国大会優勝など好成績を残している。



一人一人の個性を伸ばす学習が魅力。
愛媛で唯一家庭の学科がある県立高！

小松高校

ライフデザイン科（家庭科）では2年生からやりたいことに合わせてコースを選べる。普通科も来年度からコースが新設。より一層生徒に寄り添った学習が進められる。



建設工学科 2年
渡邊 颯太さん



日本家屋や神社建築などに興味があり、建設工学科に入りました。この学科では、地元の現場で働く職人さんに技術を教えてもらえる実習があり、プロの方に直接質問できたり、アドバイスをもらえたりするので、着実に技術が身に付くのを実感できます。地元の建設企業へ見学に行くことができる機会もあって、就職に直接生かせる授業が多いのが特徴です。資格取得の際は、親切な先生方が熱心に授業以外（補習など）でもサポートしてくれるので、安心してチャレンジできますよ。

地元企業から「本物」の技術を学べる



▲地元の職人に、瓦びき屋根の指導を受けます

機械科 3年
越智 亮介さん



小学生のとき、僕の入っていたスポーツ少年団に東予高校の皆さんが溶接したサッカーゴールが寄贈され、それ以来、人の役に立つものが作れることに憧れていました。溶接は、細やかな技術が必要ですが、作り上げたときは大きな達成感があり、校内の修繕などにも携われてやりがいを感じています。高校生溶接技術競技会では、顧問の先生の指導のおかげで四国1位になることができました。将来は溶接工を目指しているので、今の時期から専門技術を学べる環境は特別だと思います。

熱心な指導が魅力！機械部で全国大会に出場



▲次の全国大会に向けて溶接の練習に励みます

普通科 2年
佐伯 大樹さん



「総合的な探究の時間」の授業では、自ら地域の課題を見つけ解決策を考えます。まず1年生で「西条市を知る」ことから始めるのですが、有名なうちぬきの水は知っていても、それを使ったお米や味噌など知らないものもたくさんあり、地元の魅力を再発見できる良い機会になりました。今は「防災」がテーマ。西条市は、南海トラフの建物や人的被害の想定が県内で上位に入っていることが課題の一つです。ハザードマップなどを使って地域に注意喚起し、少しでも被害を減らしたいと思っています。

地域を知り、課題解決能力が養える！



▲探究活動の発表で、防災の大切さを話します

ライフデザイン科 3年
山口 麗羽さん



初めはヒューマンサービスコースで保育を勉強する予定でしたが、食物検定を受けるうちに作る楽しさを知り、2年生でライフデザインコースを選びました。授業では、魚もさばきます。作れる料理が増えると、「自分でこんなこともできるんだ！」と実感できてうれしくなります。小松地域の代表的な花である、椿文化の普及活動では、地域の人と直接お話しでき、応援してくれる皆さんの笑顔にいつも元気をもらえます。将来は、西条産の「はだか麦」を使ってパン屋さんを開きたいです。

「好き」を見つけて未来につなげる



▲椿文化の普及活動で、地域の人と交流

栽培や環境づくりなどを学んで、
自然と地域を愛する心を養う！

西条農業高校

農業生産・加工・販売や、農業土木施工・造園、被服・調理などに関する学科が設置されているのが特徴。さまざまな興味・関心に合わせて、専門的な知識や技術を学べる。



スーパーサイエンスハイスクール
(SSH)で、世界とつながる！

西条高校

普通科・国際文理科・商業科の三つの学科で進学から就職までサポート。文部科学省からSSH(※)に指定され、科学的思考の育成やオンラインで国際交流なども行う。



※先進的な数理教育や、国際性を育む「次世代育成事業」

生活デザイン科 2年
神野 優華理さん



公民館で、小学生向けの講座を行いました。園芸用の土を使ってマスコットを作るのですが、頭の部分に種が植えてあり、植物の育て方も学べます。少しでも、地域の子どもたちが栽培に興味を持ってくれたらうれしいです。西農は、地域とのつながりを大切にしていると感じています。今はコロナで中止していますが、「産業祭」では地域を盛り上げるために農産物や特産品の即売会などが2日間にわたって行われ、約1万人の人でにぎわいます。地域の方が応援してくれる環境で学べることに感謝です。

自然を通じて、地域とのつながりを実感



▲講座に集まってくれた小学生と記念撮影

環境工学科 3年
井上 音さん



小学生の頃からものづくりには興味がありました。造園は自然材料を扱うので、元に戻せない難しさはありますが、その分出来上がったときの喜びは大きいです。「若年者ものづくり競技大会」の造園部門で中四国の入賞者がいないと聞き、「やってやる」という気持ちで夏休みも練習を重ねた結果、初入賞・銅賞を獲得できました。来年からは、憧れだった宮大工として働きます。大会以外にも、資格もたくさん取れるので、ぜひいろいろなことに挑戦してチャンスをつかんでください。

「ものづくり」の造園部門で、中四国初入賞！



▲クラスメイトと協力して十坪庭園を作ります

国際文理科 2年
鎌倉 なつみさん



将来、世界の人とつながれるような仕事がしたいと思って国際文理科に入りました。オンライン英会話で海外の人とコミュニケーションが取れたときは「ネイティブと会話できた！」と自信になります。アウトプットの機会が多いので、自分が成長していることを実感できますよ。新型コロナの影響で留学などはしづらくなっていますが、オンラインで国籍も違う、初めて会う方と話せるのはすごいことですし、何よりとても楽しいです！一緒に英会話を学んで、将来の可能性を広げませんか？

オンライン英会話で広がる、夢と可能性



▲専用のタブレットで外国人教員と英会話

国際文理科 2年
曾我部 亮さん



花王株式会社の方と連携して、使用済み紙おむつの炭素化リサイクルシステムの研究をしています。紙おむつは年間200万トン以上が焼却されていて、炭素化して空気や水の浄化に使うことでCO₂の排出を減らせます。研究は、仮説通りに結果が出ないときも「なんでだろう？」とさらに知識を深められるので楽しいです。くじけそうなきがあっても、支えてくれる仲間のおかげで部長としてがんばっています。今、関わっている研究が、将来世界で役立っているかもと思うとワクワクしますよ！

SDGs（持続可能な開発目標）につながる研究に参加



▲部員を引っ張るリーダーとして活躍しています